

自然に学ぶ

自然美容研究家

三声 唯裕

歳月の流れの中で

ものごとをみつめる。

昔 中国に寒翁^{さいう}という青年が
おりました。

或る日山で馬を見つけた寒翁は
その馬が世にもめずらしい駿馬
であったので、己の幸運をたい
そう喜びました。



得意になって村中を駿馬に乗っ
て駆^かけていた寒翁は、或る日落馬
という思いがけない事故に合い
ビッコになってしまいました。

足の不自由な身となった寒翁は
己の不幸を嘆きました。

「この馬と出逢ってさえないなけ
れば、俺の両足は丈夫そのもの
であつたのに……」

寒翁の不幸を他に歳月は過ぎて
ゆきました。

そしてある年、戦争が始まり村
人は戦場^{いくさば}にかり出されて行きま
した。村には戦の出来ぬ老人と
女と子供と、そして足の不自由
な寒翁だけが寂しくとりのこさ
れました。

時は流れ戦は終わりましたが、村
人は誰れも還^{かへ}ってはいきません。
……みんな戦死してしまつたの
です。

寒翁は、今度はあの駿馬のお陰
で死を免れたのです。

このお話は、人間の運命の計
り知れない譬^{たとへ}として、
「人間万事寒翁が馬」とい



う故事で語り伝えられてい
ます。このように自然とは、長
い年月をかけてみなければ結果
(幸・不幸)は判らないものなの
です。

ですから自然の理を辨^わまえた人
は何年も先を見透して現在の情

況を判断しているのが日先の事
に思い悩まず、見透した事に対
してコツコツと積み重ねをして
行くのです。

子供がって毎日見ていけばさし
てその変化には気づきませんが、
10年を経て見ればその変化は明
瞭にわかります。ですから教育
でも、小学6年、中学3年、高
校3年、大学4年と16年もの歳
月をかけて教育の成果を見詰め
ています。

美容も健康も、一日で美しくな
りたい、健康になりたいと自然
の理に反した望みを抱く為に腹
も立ち、急る気持ちがよいマイ
ナス面に働いてしまいます。た
った一日では美しくも健康にも
なれないのが自然の理であり
長い年月をかけて美しくなり健
康になるこそ本物だと解つ
て始めれば、心の余裕もプラス
面に働きます。

自然というものはこのように長
い年月をかけてひとつのものを
仕上げる、ということになって
いるのです。

「継続は力なり」という言葉が
ありますが、何かを追求し、や
りとげた人の人生を見聞きする
につけ、成程と思わづにはいら
れません。

十二月は一年の締め括りです。
除夜の鐘を聞きながら一月から
十二月迄の出来事を思い浮べて
みて下さい。

腹が立ったこと、クヨクヨ悩ん
だ日々、それらが今の貴女にど
のような影響を与えているので
しょうか？

総^{すべて}がマイナスだったでしょうか。

プラスになったこともあるので
はありませんか？

これの一つの教訓として新しい
年をお迎え下さいますよう

お祈りしております。